

新人職員 紹介

(新卒職員のみ)

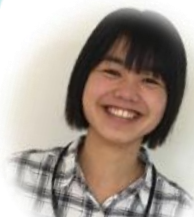
西の池学園
河村 里菜



いつも笑顔で、利用者の皆さんや職員の方に元気を分け与えられるような支援員になります!!

一人ひとりの利用者の方に真摯に向き合い、支援していけるように頑張ります。

西の池学園
伊藤 優我



多機能型事業所あさひ
福嶋 幸恵

笑顔をかかさず、暖かい太陽のような支援員を目指します。



デイセンターこだま
坪井 琳花
目配り・気配り・心配りをモットーに、そして笑顔を決やさず頑張っていきます。

利用者の方に寄り添った食事作りをしていけるように頑張ります。

西の池学園 管理栄養士
石井 嘉歩



西の池学園
後藤 千穂

必要とされる支援員を目指して、毎日笑顔で頑張ります。

西の池学園
大坂 祐貴
明るさと笑顔を大切に、日々利用者の方と接していきます。



デイセンターこだま
森山 愛理

大学で高齢者や障害を持つ方へのボランティアの経験を活かし、新しい事をどんどん吸収していきたいです。

一日一笑、利用者の皆様に笑顔にできるような支援員を目指して精一杯頑張ります。

西の池学園
廣川 麻衣



人材確保委員会の一員として
福祉業界では人手不足が深刻化している中、「平成会で働きたい!」と強い信念を持った有望な新卒の職員が10名も入職されました。私は、当法人が開催している見学会や就職説明会に携わってきましたが、大学での実習や勉強などで忙しい中、自分の働く場所を自分の目で見つけようと頑張っている皆さんの姿が印象的でした。慣れない場所で新しい生活がスタートし、今、心も体も疲れていると思いますが、皆さん、いつも笑顔で気持ちの良い挨拶をされています。
若いパワーを貰って利用者さんにも笑顔が増えました。新しい息吹、新しい風を大切に、精一杯新人職員をサポートしていきたいです。
西の池学園 瀧岡 峰花

あおぞらばん屋さん
窪田 遥奈



利用者の方々と一緒に、おいしいパンを作ることが出来るよう頑張ります。

西の池学園

ショートステイの取り組み

西の池学園では、平成29年10月より入所利用者の定員を70名から60名に減員しました。空いた1棟をショートステイ棟として整備し、平成30年2月よりショートステイの定員を6名から10名へ増員しました。
1年を通じて安定してショートステイをお受けできるように、そしてご家族やご本人さんからのご希望に、より多く添えるようにしています。
ご利用のケースは、冠婚葬祭や介護者の疾病などの緊急時はもちろん、ご家族のレスパイト(休息)や、ご本人さんの将来に向けた体験としてショートステイを活用されるなど様々です。
安心してご利用できるよう個室や共有スペースを準備していますので、ご希望の方は西の池学園または相談支援センターこだまへご連絡下さい。



~ショートステイの部屋~

支援員 藤井 郡

宮領デイセンター

宮領デイセンターが開設して

宮領デイセンターは、生活の支援や自立に向けた活動を行うための生活介護施設で開設から3カ月が経とうとしています。
施設内の支援は、集団活動が苦手な方は個室での活動時間を長くしたり、活動の内容やスケジュールは、写真や絵、実物を提示し、利用者が安心して活動ができるようにしています。
正直なところ、職員もまだまだ不慣れなところがあり、利用者も落ち着かない場面があります。しかし、利用者一人ひとりに自分の居場所ができ、できることや、その人なりの役割りが日々、増えつつあります。
そんな中、先日利用者と一緒に歩いていたところ、地域の方から「こんにちは」と声をかけていただきました。また、顔なじみの方もできて、笑顔で手を振っていただくこともあります。私は、とても勇気づけられ嬉しくなりました。私達も利用者と一緒に地域に溶け込んでいきたいと思っています。
私たち宮領デイセンター職員の強みは「チームワーク」です。職員はもちろんのこと、利用者ともチームワークを作り、地域の方々とも連携を強めていきたいと思っています。

支援員 堀川 勝彦

放課後等デイサービス

夕風

初めての給食

春休み前、高校生のAさんの保護者から「夕風で給食にトライしてみようと思う」とお電話をいただきました。Aさんは、幼少期から同じ物しか食べられず、器が変わると水も飲めないなど激しい偏食がありました。「色々な物が食べられるようになってほしい」と両親の切実な願いでした。ご家庭では毎日、翌日の給食と同じ献立の物を作って夕食に出し、当日初めての物でないようにされ、学校ではボードに食べる順番を表示するなど、家庭と学校で取り組まれていました。
少しずつ色々なものが食べられるようになり、夕風ではクッキングで作った物を食べる事ができるようになりました。食べられるかな・・・結果は、あつという間に完食され、喜びの報告をすることができました。
長年、努力されてきて願いが叶ったこと、夕風で少しでも関わることができたことを嬉しく思いました。同時に「両親と共に喜びを感じることができました。この経験から食べる喜びを知り、楽しみを持って生活が送れるように手助けをしていきたいと思っています。」



保育士 斎藤 萌

※誌面の写真、名前については、ご本人の同意を得て掲載しています。